

# SoftBank BB 事例:ソフトバンク BB の選択

コンテンツビジネスプラットフォームを支えるインフラを  
高い可用性と、高い拡張性を実現するグリッドコンピューティング環境で構築

Oracle Database 10g Enterprise Edition

Oracle Real Application Clusters 10g

Oracle Application Server 10g Java Edition

Oracle Technology OnDemand

「コンテンツビジネスプラットフォームを支えるインフラは、複数のシステムが複雑に絡み合っているため、少なくともデータベースだけは常に稼働していることが絶対条件だった」

情報システム本部コンテンツシステム企画統括部、統括部長の永瀬氏は語る。



ソフトバンク BB 株式会社  
情報システム本部  
コンテンツシステム企画統括部  
統括部長 永瀬 淳氏



ソフトバンク BB 株式会社  
情報システム本部  
コンテンツシステム企画統括部  
戦略企画部  
部長 遠藤 弘行氏



ソフトバンク BB 株式会社  
情報システム本部  
コンテンツシステム企画統括部  
プロジェクト企画推進部  
部長 八木 宏氏

## より多くの収益を上げるために コンテンツビジネスへ本格展開

ソフトバンク BB では、ソフトバンク・グループ最大規模の事業会社として、プロバイダーと ADSL/光回線を一体で提供している。この一気通貫型の新しい事業モデルにより、「Yahoo! BB」を中核としたブロードバンドサービスにおけるインフラの構築から各種サービスの提供、販売支援、サポートまでを一貫して行なっている。

同社では回線サービスの事業に加え、今後の収益拡大を担う事業の柱として、コンテンツサービスに注力している。すでに「Yahoo! BB」上で各種コンテンツを提供している同社は、本格的にコンテンツビジネスを提供するためのプラットフォームの整備に取り掛かった。今回ソフトバンク BB が整備に取り組んだシステムは、会員管理認証システムと販売管理システムの二つである。

## コンテンツビジネスを支える プラットフォームの整備

現在「Yahoo! BB」の会員数はおよそ 490 万であるという。コンテンツサービスの提供は、この 490 万回線に接続されたユーザーに対して行われるので、その数はとても多くなる。これらの大量なアクセスに耐え、かつ高いレベルのセキュリティを保った会員管理システムが必要となる。

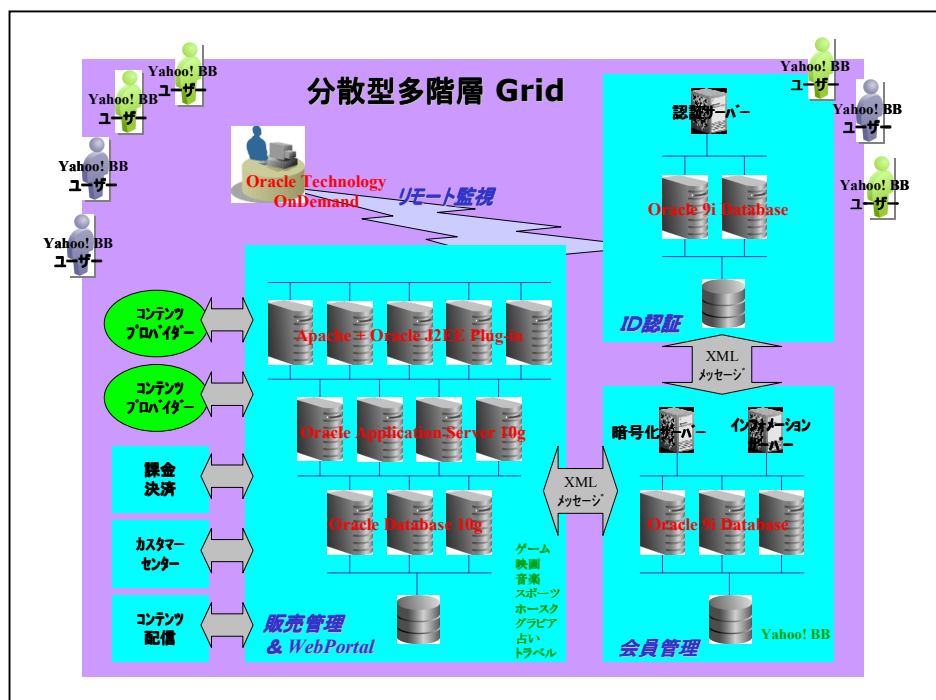
また販売管理システムに対しては、24 時間 365 日連続したサービスを提供できることが条件となるため、高い可用性と拡張性が要求されていた。さらに月単位の契約形態から、よりリアルタイムに契約と販売ができるシステムへ移行する必要もあったと、プロジェクト企画推進部部長の八木 宏氏は語る。

## パフォーマンス、拡張性、可用性を 高いレベルでバランス

セキュアで大量アクセスに耐える会員管理と、リアルタイムなコンテンツの販売管理を実現するためには、安定したパフォーマンスの提供と、高い信頼性の個人認証システムが必要となる。プロジェクトが出した方針は「連続稼働性重視」であった。具体的には障害時の縮退運転が可能なこと、メンテナンスなどの一部システム停止時においてもサービスの継続的な提供が可能なこと、そして計画的な運用が可能なことである。

また高いパフォーマンスを実現するために、予め高機能なハードウェアを準備することなく、会員数の増加に見合ったシステム拡張が容易にできる、バランスのとれたシステムが要求されていた。ソフトバンク・グループでは、これまでも回線申し込みシステムへの大量トランザクション発生経験があり、特にこの点は気を使ったという。

## システム構成



## グリッドにより初期投資額を抑え、段階的な拡張を実現

「連続稼働性重視」の方針に基づき 24 時間 365 日連続したサービスを提供する必要があり、パフォーマンスを含めたリソースの管理面においても効率化・迅速化が要求されている。

またコンテンツビジネスは最初の立ち上げ段階では、初期投資額を低く押さえる必要がある。これはコストを下げることにより、ビジネスの立ち上がりを加速させる必要があるからである。しかし一旦コンテンツがヒットすると、アクセスは急激に増大し、しかもその事前予測が非常に困難でもある。システムに要求されるパフォーマンスの急激な変化に対する柔軟性、拡張性はコンテンツビジネスへの評価となり、売り上げに直結するため、迅速な対応が可能なシステムが要求されるのだ。「新システムのデータベースにはグリッドコンピューティング環境が最適であるとの判断から、Oracle Database 10g を採用しました。またアプリケーションサーバについても、データベースサーバとの連携が容易な Oracle Application Server 10g を採用し、こちらも負荷の増大に柔軟な対応ができるインフラを整えました」と戦略企画部部長の遠藤弘行氏は語った。

## Oracle On Demand の利用で確実なシステム運用を立ち上げる

「Oracle On Demand」は、Oracle のエキスパートであるオラクルのエンジニアがオラクル・ソフトウェア製品の運用/管理をオンラインでおこなうサービスである。ソフトバンク BB では、システム導入当初から、Oracle Database 10g と Oracle 9i Database のそれぞれについて、Oracle On Demand のサービスを利用している。そのサービス品質の高さについては社内でも評価が高く、システム運用にかかっていた要員とコストを削減することによって、より戦略的な業務に集中することが可能となった。

## グループ会社への展開と、マーケット分析機能の強化

現在は会員管理と販売管理システムの整備が整ったところであり、今後は大規模なコンテンツを管理できるシステムの整備やサービスの利用状況などを分析できるシステムの整備にとりかかる。これらの分析情報はコンテンツ拡充の参考情報となるだけでなく、分析情報自体を新たなサービスコンテンツとしていくとのこと。そして、さらにより多くのサービス提供会社を加えていきたいとコンテンツシステム企画統括部統括部長の永瀬淳氏は語った。

## ソフトバンク BB 株式会社

設立：2000年5月16日

資本金：1,480億円

従業員数：約4,500名

主要な事業内容：

「Yahoo! BB」を中核としたブロードバンドにおけるインフラや各種サービスの提供、及び技術開発から営業、販売、サポートまでを一貫して行なう。IT 関連の流通事業とサービスを提供し、ブロードバンドやイーコマースの関連事業会社を統括、管理する。

導入製品とサービス：

- ・ Oracle Database 10g Enterprise Edition
- ・ Oracle Real Application Clusters 10g
- ・ Oracle Application Server 10g Java Edition
- ・ Oracle Technology OnDemand

対象システム：

- ・ 個人認証・会員管理システム
- ・ 販売管理システム

導入効果：

- ・ セキュリティ・パフォーマンス・拡張性・可用性を高いレベルでバランス

オラクル製品お問合わせ窓口

**Oracle Direct**

TEL 0120-155-096

URL <http://www.oracle.co.jp/direct/>